

言葉の魔法

ちょっとした一言が人を変える力を持つことがある。
迷ったときの道標になる言葉、
ふと思い出して元気になれる言葉……。
確かな成果を残したビジネスパーソンたちに、
そんな言葉の魔法を聞いてみよう。

“それはあなたが作った価値観ではないですか”

残業時間1日15分。設立5年のベンチャーがこうしたワークライフバランスを実現できるとは、以前の私なら考えられませんでした。きっかけは、コーチングの第一人者ルー・タイス氏のこの問いかけです。

ちょうど自分たちの働き方に悩んでいたときでした。これまでにない事業を立ち上げ、世の中から注目されるようになった反面、みな長時間労働で、家庭生活との両立に悩み退職する部下が出るなど、子育てを支援するNPOとして矛盾することが起きていた。しかし、ベンチャーであれば忙しいのは当たり前と思っていました。

するとタイス氏は、「本当ですか？ それはあなたが作った価値観ではないですか」と言ったのです。忙しい状態を充実感と錯覚し、自分の“comfort zone（心地よい状態）”にできていないかと。

悔しいですが当たっていました。忙しいのは頑張っている証、そういう思い込みが確かにあった。それが部下を過剰に忙しくさせていたのかもしれない。マネジメントは時に凶器です。上司が原因でうつ病になる人もいます。部下を追いこんでいるのが自分の無意識の思い込みだとしたら、恐ろしいことだと感じたのです。

そこで早速、9時から18時でどこまでできるか試してみることにしました。参加する会議を厳選し、メール返信は極力省略し……と“カイゼン”に取り組みました。するとたった数日で、定時退社が可能なのが証明されてしまったのです。18時以降あれほど働いていたのが嘘のようでした。上司が帰れば部下たちも自然と早く帰るもので、ワークライフバランスはすぐに職場全体に広がりました。それから2年半、残業代の大幅減、「残業なし」による採用力アップなど思わぬ副産物もあって、事業は順調に拡大しています。

人は自分で作った価値観に無意識に縛られている。そのことに気づけたことに、今も心から感謝しています。



全国初の共済型病児保育サービス事業で、
国内外の注目を集めている社会起業家

駒崎弘樹氏

NPO法人 フローレンス
代表理事

Hiroki Komazaki_学生ITベンチャー経営者として活躍後、特定非営利活動法人(NPO)認証を取得、2005年から軽度の発熱などにより保育園に預けられない子どもを預かる病児保育事業をスタート。ニューズウィーク誌「世界を変える社会起業家100人」(2007)、「ハーバードビジネススクールクラブオブジャパン アントレプレナーオブザイヤー2008」ほか受賞。2010年、内閣府非常勤国家公務員(政策調査員)に任命される。31歳。